

2024年12月期 第1四半期 個人投資家向け決算説明会

YCPホールディングス（グローバル）リミテッド
2024年5月21日



アジェンダ

はじめに JDR(日本型預託証券)とは／投資参考指標のご案内

2024年12月期 第1四半期 業績

各事業のご紹介：マネジメントサービス事業

各事業のご紹介：ソリューション事業

各事業のご紹介：プリンシパル投資事業

2024年12月期 業績予想

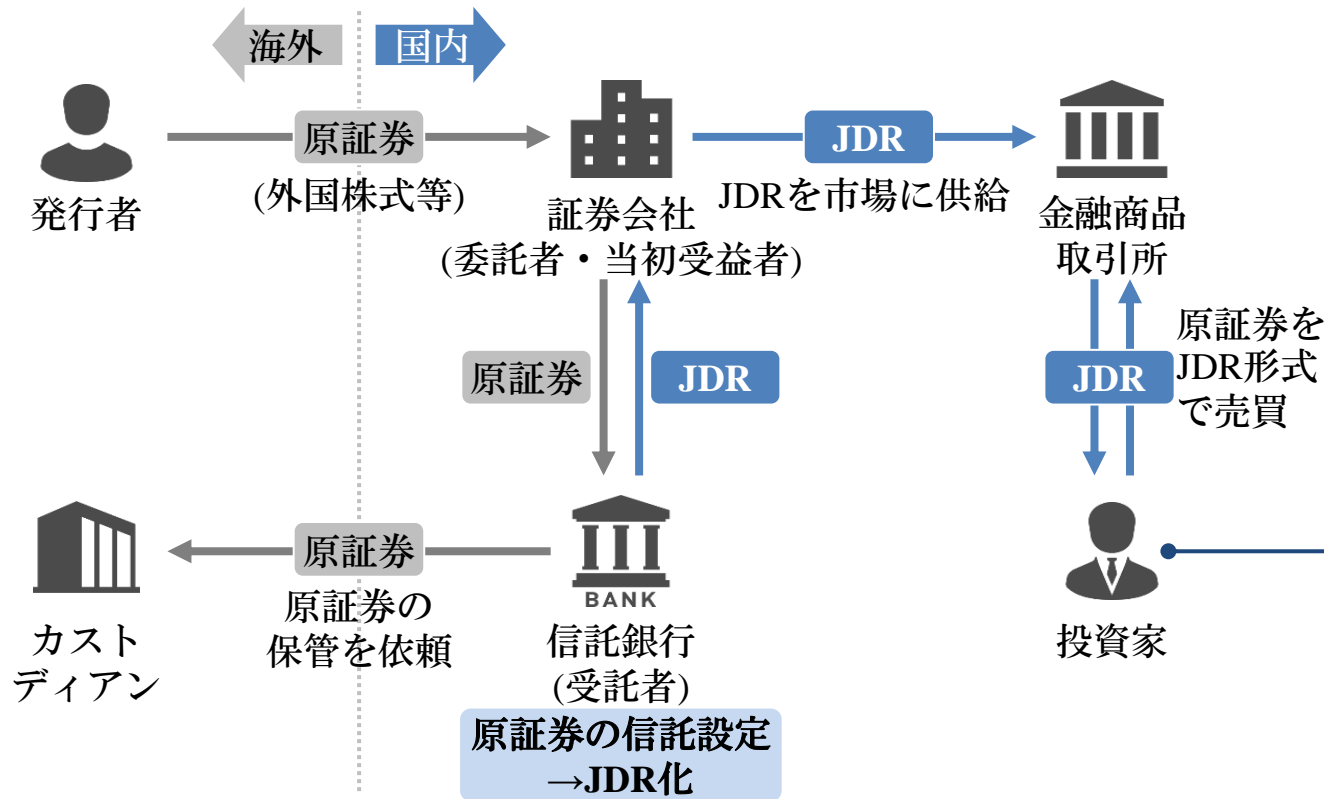
質疑応答



はじめに：JDR（日本型預託証券）とは

- 米国におけるADR等を参考に、2007年9月の金融商品取引法改正で導入、2017年9月にJDR銘柄が東証に初上場
- 投資家：国内株式等と同じ取引・税制の適用を受けながら、日本円・日本時間で外国企業への投資が可能になる
- 発行者：取引規模が大きく安定した日本の証券市場を通じて資金調達を行うことができる

JDRの発行スキーム*



JDRのポイント

取引	<ul style="list-style-type: none"> • 全国の証券会社を通じて売買可能 • 特定口座の取引対象となり、外国証券取引口座の開設も不要 • 日本円による決済・分配金受け取り • 税制も国内株式と同様
株主総会	<ul style="list-style-type: none"> • 発行会社の株主はJDR受託者(信託銀行)となるため、JDR投資家は、株主総会には出席できないが、発行会社が実施するJDR投資家説明会等で対話が可能
議決権行使	<ul style="list-style-type: none"> • JDR投資家は原株式の議決権を直接行使することはできないが、JDR受託者に対して議決権の行使指図を行うことにより、間接的に議決権を行使することが可能

*日本取引所グループホームページ掲載のJDRの発行スキーム(例)より引用。<https://www.jpx.co.jp/equities/listing-on-tse/new/basic/05.html>



投資参考指標のご案内

指標算出に 使用した株価：	624 円	2024年5月14日現在の東証グロース市場における当社JDRの終値
発行済株式総数：	22.3 百万株	2024年5月14日現在の発行済株式総数
上場JDR数：	14.1 百万口	2024年5月14日現在の上場JDR数（発行済株式総数のうちJDRの信託設定が行われた株数）
時価総額：	138.9 億円	2024年5月14日現在の終値624円×同日現在の発行済株式総数22,271,292株で算出
予想PER：	13.41 倍	2024年5月14日現在の終値624円÷FY2024通期の予想EPS0.31米ドルで算出
実績PBR：	1.26 倍	2024年5月14日現在の終値624円÷FY2024 Q1の実績BPS3.28米ドルで算出
予想ROE：	9.4 %	FY2024通期の当期利益予想6,744千米ドル÷FY2024 Q1の純資産71,810千米ドルで算出
予想ROA：	5.4 %	FY2024通期の当期利益予想6,744千米ドル÷FY2024 Q1の総資産125,751千米ドルで算出
株主資本比率：	57.1 %	FY2024 Q1の純資産71,810千米ドル÷FY2024 Q1の総資産125,751千米ドルで算出

*日本円への換算は、1ドル = 151.40円 (2024年3月29日の為替レート) により計算

会社概要ならびに

2024年12月期 第1四半期業績ハイライト





自己紹介



石田 裕樹 取締役兼グループCEO

- コーネル大学 工学部 卒業
- 東京大学大学院工学系研究科 修了
- 2006年、ゴールドマン・サックス証券株式会社入社。戦略投資部、マーチャント・バンキング部門 (REPIA及びPIA) において、債券・不動産・未公開株式への投資と、企業再生実務を担当
- 2011年に当社グループを創業
- 2014年、ホールディング化に伴い、当社グループの取締役兼グループCEOに就任



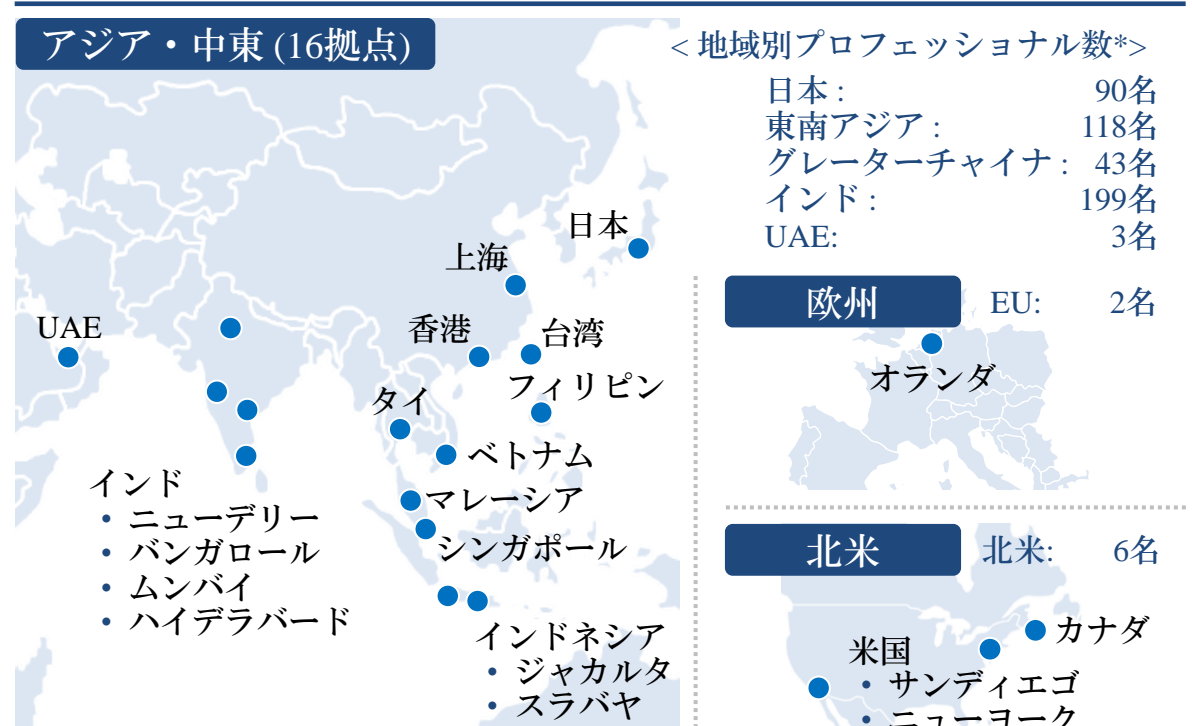
会社概要

YCPホールディングスは、2011年8月創業の株式会社ヤマトキャピタルパートナーズ (現・株式会社YCP Japan) にて事業を開始し、国際色豊かな組織を実現するため、2014年よりグループの社名をYCPに改めると共に香港を拠点とするホールディングス化を実施。2021年、シンガポールにグループ統括機能を担う当社 (YCP Holdings (Global) Limited) を設立し、東京証券取引所マザーズ (現・グロース) 市場に上場

YCPグループ概要

持株会社商号	YCP Holdings (Global) Limited (東京証券取引所グロース市場: 9257)
持株会社住所	20 Collyer Quay #12-06, 20 Collyer Quay, Singapore
持株会社資本金	44,926,326米ドル
グループ事業	1. マネジメントサービス事業 2. ソリューション事業 3. プリンシパル投資事業
グループ設立	2011年8月
グループ代表者	石田 裕樹
グループ社員数*	プロフェッショナル数: 461名 投資先を含む総社員数: 765名

グローバル拠点



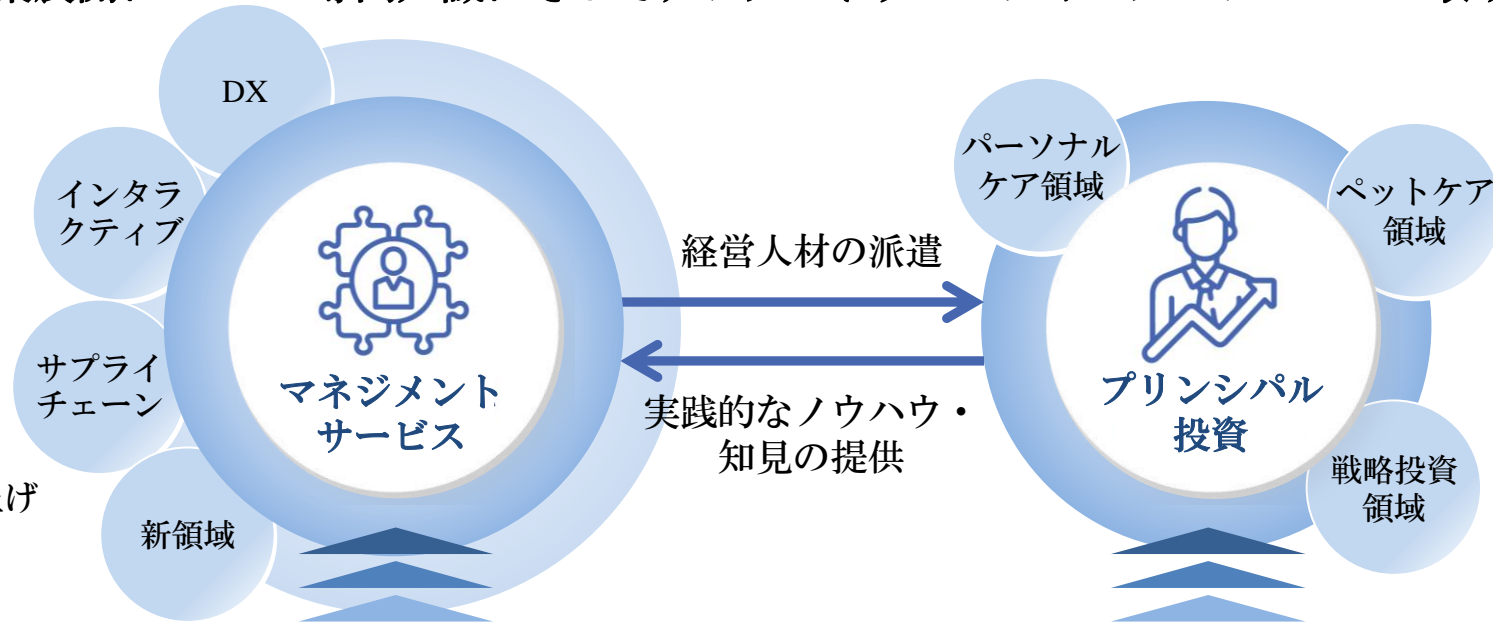
*2024年3月31日現在。プロフェッショナル数は、プリンシパル投資事業の投資先社員数を除いた数字



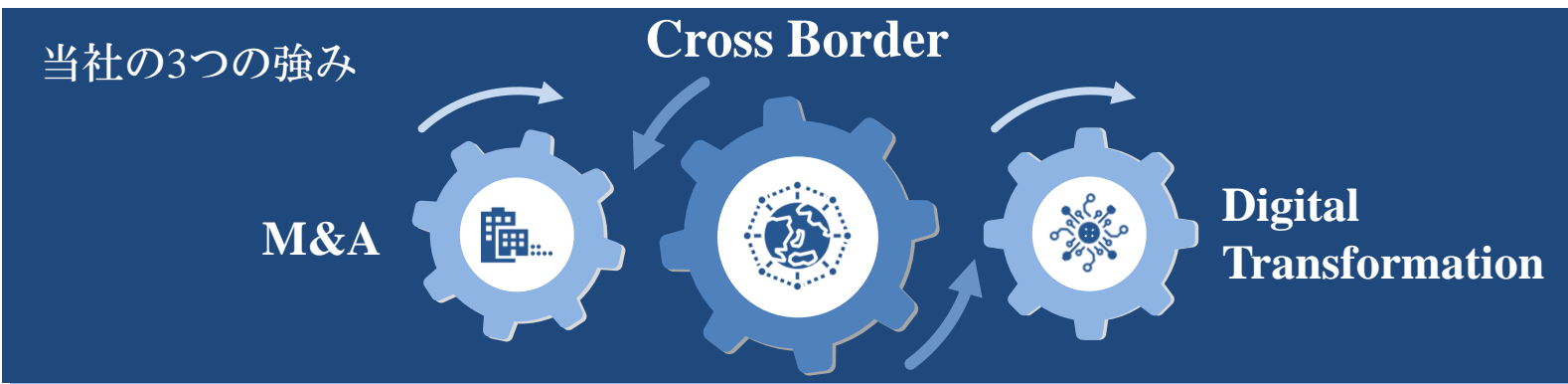
事業概要及び当社グループの報告セグメント

当社グループはクライアントへ各種経営支援を提供する「マネジメントサービス」及び「ソリューション事業」、自己資本によってリスクマネーを提供する「プリンシパル投資」の3つの事業を展開。グローバルネットワークを通じたクロスボーダーでの事業展開、M&Aの専門知識、そしてデジタルトランスフォーメーションへの取り組みの3つを強みに持つ

売上収益の約8割がM&AやDX導入をテーマとした現場常駐型 (PMO型) の経営支援。残り2割がデュー・デiligenceや戦略提言といった高付加価値サービス。加えて、特定領域に特化したソリューション部門を立ち上げ



中小/新興企業に対して自己資金を投下した上で直接的に経営参画。パーソナルケア領域及びペットケア領域を重点領域と定め、それ以外のポートフォリオは戦略投資領域として、3つのセグメントで業績を開示

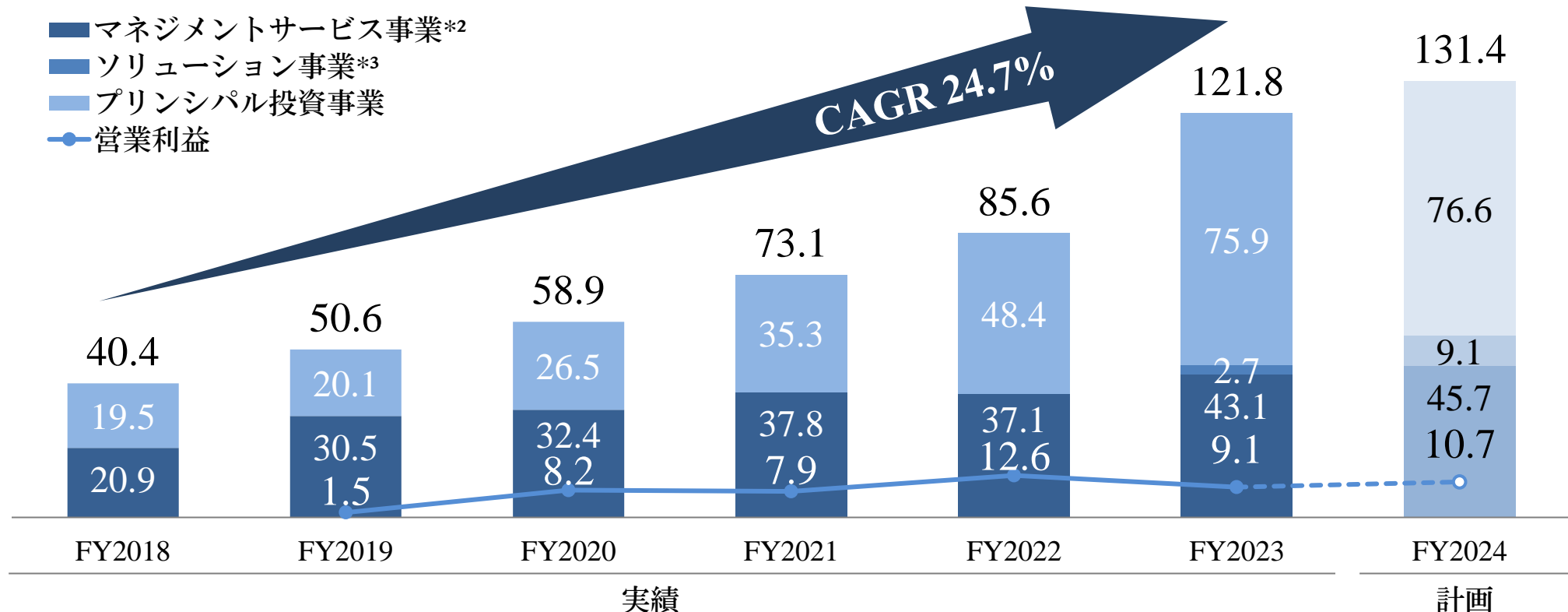




過年度の業績推移と今期業績予想

- FY2023通期において、売上121.8百万米ドル (184.4億円*¹)、営業利益9.1百万米ドル (13.8億円*¹) を達成
- 直近5カ年の年平均成長率は24.7%。FY2024は売上131.4百万米ドル (198.9億円*¹) を計画

売上収益・営業利益推移 (百万米ドル)



*1: 日本円への換算は、1ドル = 151.40円 (2024年3月29日の為替レート) により計算

*2: マネジメントサービス事業の売上には、ソリューション事業であるDX領域、インタラクティブ領域の売上を含む

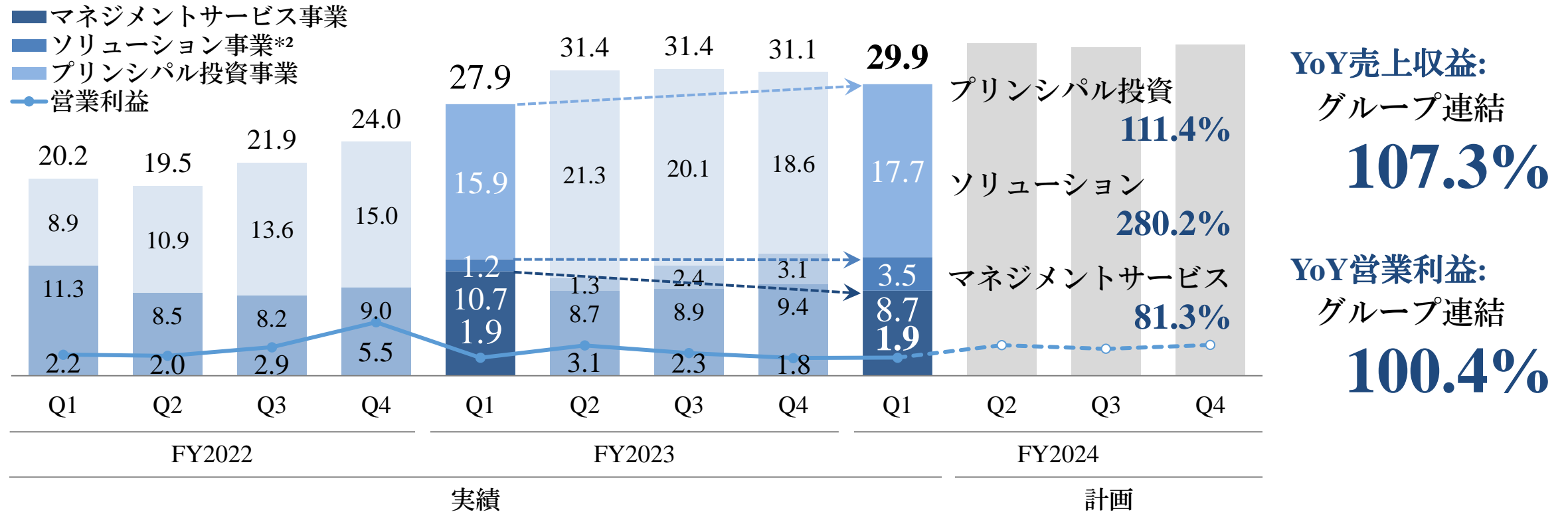
*3: サプライチェーン領域のみの数値



FY2024 Q1単体 グループ連結業績

- ソリューション事業の新設及びプリンシパル投資事業の堅調な推移により、売上収益29.9百万米ドル (45.3億円*1)、営業利益1.9百万米ドル (2.8億円*1) とグループ連結で増収増益を実現
- 期初業績予想に対しても100%を超える進捗率で着地

売上収益・営業利益推移 (百万米ドル)



*1: 日本円への換算は、1ドル = 151.40円 (2024年3月29日の為替レート) により計算

*2: ソリューション事業は、サプライチェーン領域・DX領域・インタラクティブ領域の3領域の合計の数値。FY2023の数値は未監査



決算短信における報告セグメントの変更について

ソリューション事業のうち、比較的事業規模の小さい領域（DX・インタラクティブ）はこれまでマネジメントサービス事業に合算して開示していたが、業容拡大に伴いFY2024以降は、サプライチェーン領域とともに**全3領域をソリューション事業として開示**する

		FY2022まで	FY2023	FY2024以降
マネジメントサービス事業		DX領域・ インタラクティブ領域 はマネジメント サービス事業と 合算して開示	DX領域・ インタラクティブ領域 はマネジメント サービス事業と 合算して開示	マネジメント サービス事業のみの 業績を開示*1
DX領域				
ソリューション事業	インタラクティブ 領域			
	サプライチェーン 領域	N/A (未参入)	ソリューション事業と して開示 (FY23Q3から)	

次頁以降の
前年比較で使用
するFY2023の
実績については、
本資料用に算出
した未監査の
数値を使用

*1：決算短信とは異なり、本決算説明資料では前年同期との比較を目的に、FY23におけるマネジメントサービス事業の業績は、DX・インタラクティブ領域の業績を除外した数値（未監査）を使用

*2：決算短信とは異なり、本決算説明資料では前年同期との比較を目的に、FY23におけるソリューション事業の業績は、マネジメントサービス事業と合算されていたDX・インタラクティブ領域の業績（未監査）を使用

各事業のご紹介： マネジメントサービス事業

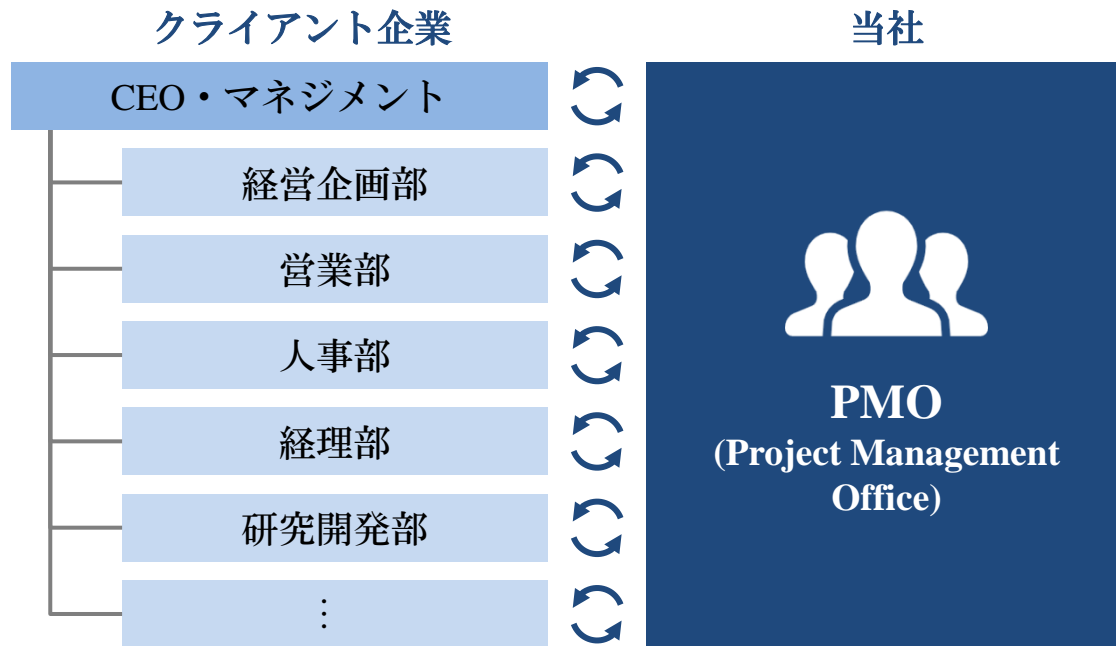




マネジメントサービス事業のご紹介

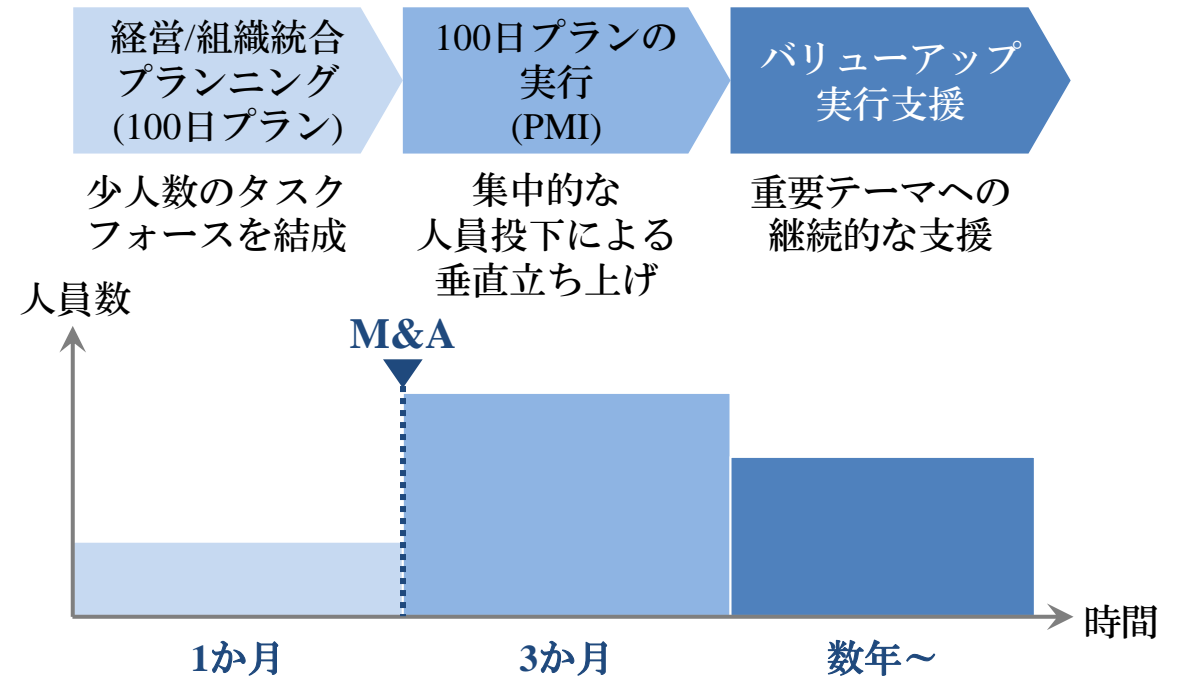
- YCP Solidiance / YCP Auctusの2ブランドでサービスを展開
- M&AやDX導入をテーマにした**現場常駐型 (PMO型)**の経営支援サービスを**アジア全域**で提供
- 企業変革の実現に向けてクライアントと伴走するため、**長期的な案件の受注**が可能

PMO (Project Management Office) とは



M&AやDX導入など大きな企業変革を伴う際に、部門を横断して柔軟に実行支援をサポートする特務組織

M&AにおけるPMO支援のイメージ



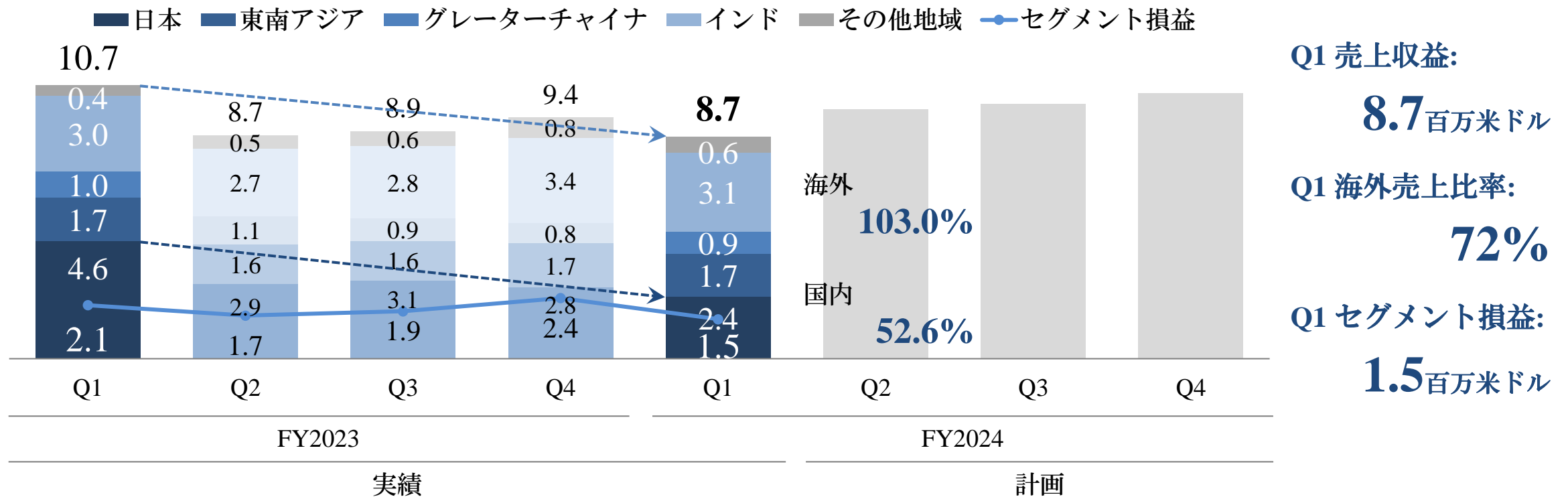
M&A実行の1か月前から支援を開始し、PMOとして長期に渡って常駐型での支援を継続



マネジメントサービス事業の業績

- FY2024 Q1は売上収益8.7百万米ドル (13.2億円*)、セグメント損益1.5百万米ドル (2.3億円*)
- 経済成長が続くインド地域の業績貢献がありつつも、日本地域において更なる円安や大型プロジェクトの失注/期ずれの影響により大きく減収となり、事業部全体では売上収益がYoY81.3%、セグメント損益がYoY73.8%で着地

業績推移* (百万米ドル)



*日本円への換算は、1ドル = 151.40円 (2024年3月29日の為替レート) により計算



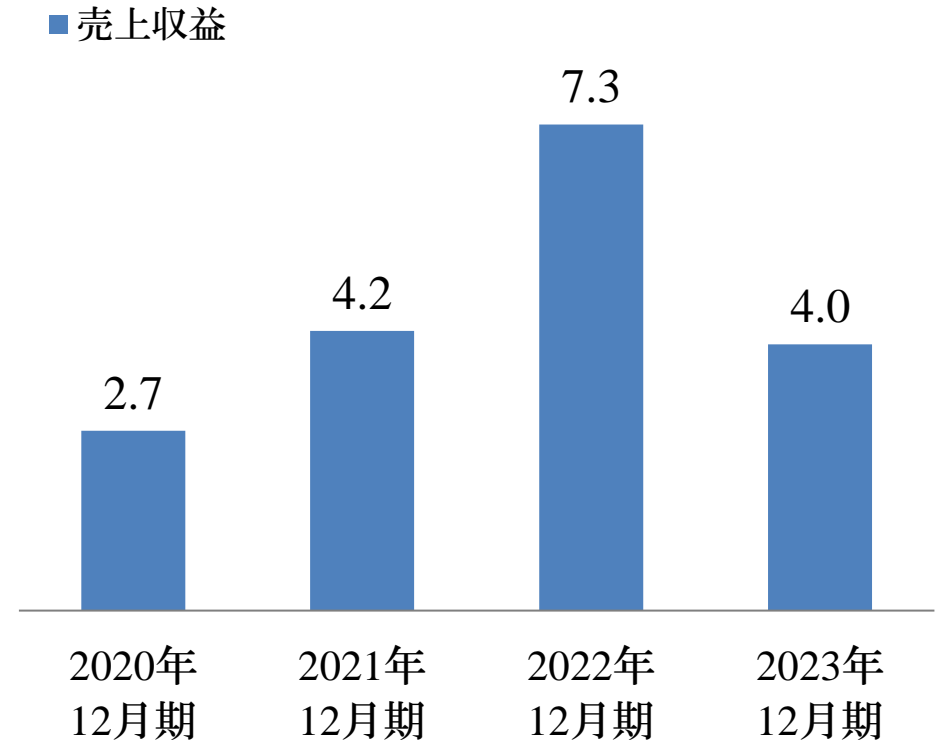
シエンクオ社の完全子会社化 (2024年4月)

- 2024年4月、中国及び欧州で戦略策定や企業変革、サプライチェーンなどに関するコンサルティングサービスを提供する独立系ファーム「シエンクオ・ビジネス・パートナーズ」を完全子会社化

シエンクオ社の概要

名称	Shenkuo Business Partners Limited
設立	2015年8月
拠点	香港、上海、パリ
従業員数	27名 (2024年1月31日時点)
グループ事業	戦略策定や企業変革、サプライチェーンなどに関するコンサルティングサービス
主要取引先	<ul style="list-style-type: none">DanoneAdidasBelTaylorMadeMaxeon

シエンクオ社の売上収益推移 (億円*)



*日本円への換算は、1ドル=151.40円 (2024年3月29日の為替レート) により計算

各事業のご紹介： ソリューション事業

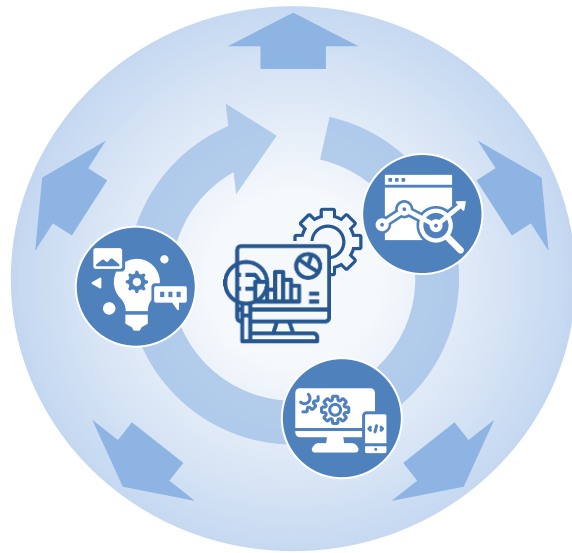




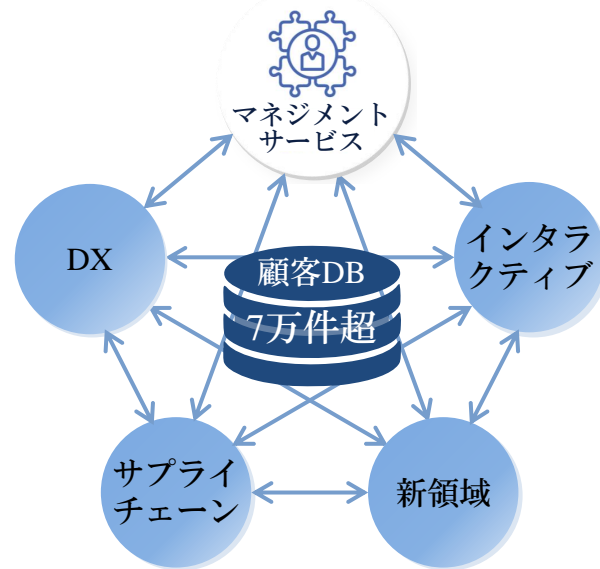
ソリューション事業のご紹介

- **DXやサプライチェーン**など、近年急速に需要が高まっている領域に**特化した事業部**を新設
- 専門的な知見を「ソリューション」として**定型化/高度化**し、既存の**マネジメントサービスの顧客基盤**を活用した売上拡大を目指す

グループとしての成長戦略



ソリューションの定型化・汎用化によるプロダクト開発を行い、スケーラビリティを追求



世界20拠点において、7万件超の既存顧客データベースも含めた事業部間での相互送客による、クロスセル・アップセル

ソリューションサービス各領域の概要

デジタルトランスフォーメーション (DXD) クライアントのデジタル企業変革、デジタル新規事業の立案

インタラクティブソリューション (ISD) 認知・集客強化からクロスボーダーでのECプラットフォームの提供に至る一連のワンストップサービスの提供

サプライチェーンソリューション (SCD) 調達安定化・コスト削減、業務効率化・DX化など、サプライチェーン領域におけるソリューション提供

2022年
5月新設

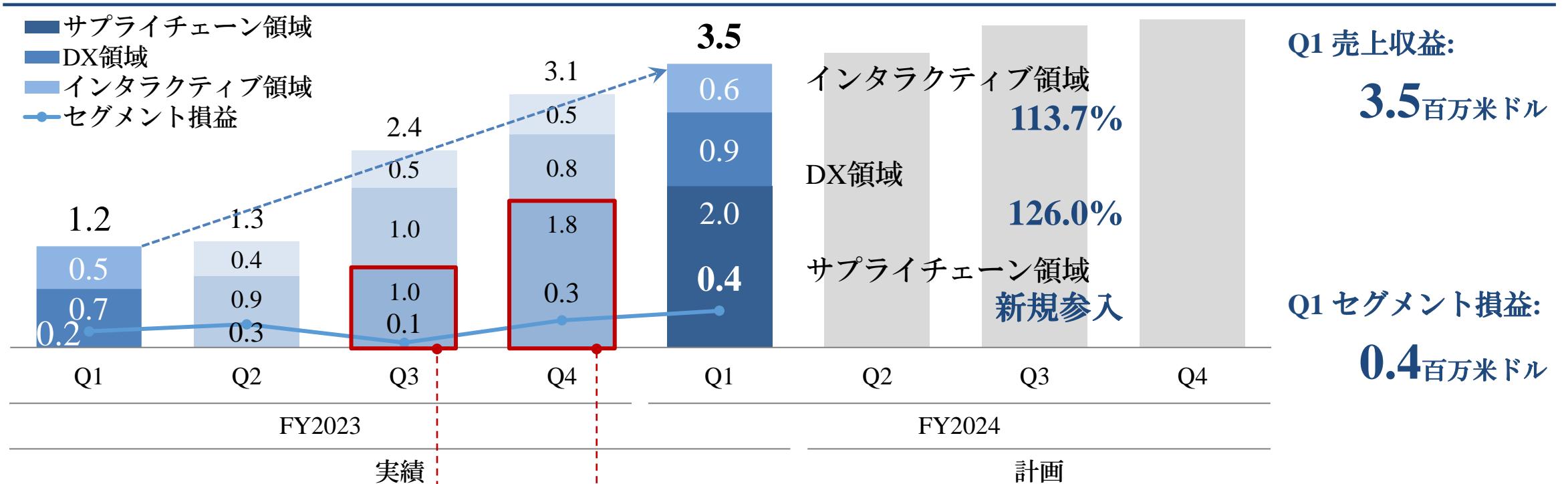
2023年
4月新設



ソリューション事業の業績

- 2023年8月、調達・購買の費用削減やサプライチェーンの再構築に特化した「コンサスグローバル」を完全子会社化し、サプライチェーン領域に進出。立ち上げを進めていたDX領域及びインタラクティブ領域と合わせて今期から「ソリューション事業」として開示
- 売上収益3.5百万米ドル(5.2億円*)、セグメント損益0.4百万米ドル(0.7億円*)

業績推移* (百万米ドル)



Q1 売上収益:
3.5百万米ドル

Q1 セグメント損益:
0.4百万米ドル

インタラクティブ領域
113.7%

DX領域
126.0%

サプライチェーン領域
新規参入

*日本円への換算は、1ドル = 151.40円(2024年3月29日の為替レート)により計算

各事業のご紹介： プリンシパル投資事業





プリンシパル投資事業の概要

- マネジメントサービス事業を通じて培った経営人材のプラットフォームを活用し、中小 / 新興企業に対して自己資金を投下。パーソナルケア、ペットケアの2領域に対し、重点的に投資中

① パーソナルケア領域



SOLIA

- 乳幼児向けの日焼け止めなど「国産」「オーガニック」をキーワードとする美容製品を企画/販売
- 「D2C」= 顧客への直接販売、「EC」= ネット通販専業とし、効果的なマーケティングを実施
- 当社グループのネットワークを活用した海外展開を実現

② ペットケア領域



- M&Aによる規模拡大、DX化による効率化で、動物病院の高収益化を実現
- 在籍する著名な獣医師の知名度も活用しながら、「既存の動物病院のグループ化」及び「高度及び二次医療」を柱とし、ペット向け医療に関わるあらゆるニーズを捉える

③ 戦略投資領域



武蔵野御廟

- 左記の「パーソナルケア」「ペットケア」に続く新たな有力投資先を育成する
- 北海道に展開する地元密着の海鮮居酒屋「はちきょう」
- 香港/シンガポールにおける日本食レストラン「哲平食堂」
- 管理不要の都市型納骨堂を販売する「武蔵野御廟」

① パーソナルケア領域のご紹介

- ・ 自社で開発したパーソナルケア・ブランドをオンラインで生活者に直接販売 (D2Cモデル)
- ・ 当社のグローバルプラットフォームを活かし、アジア各地 (特に中国) へ積極展開

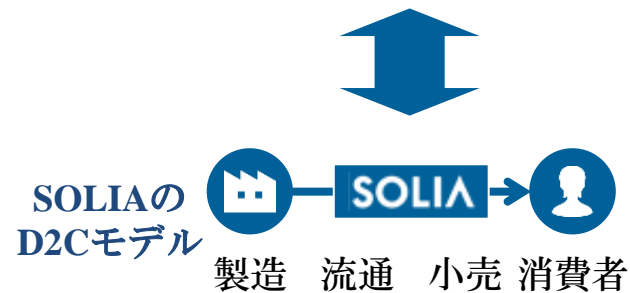
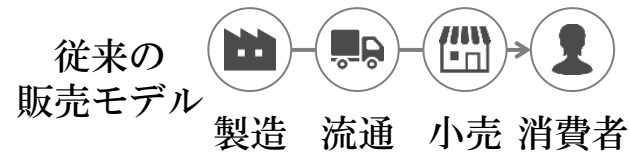
主要ブランド



事業戦略



SOLIAのD2Cモデル



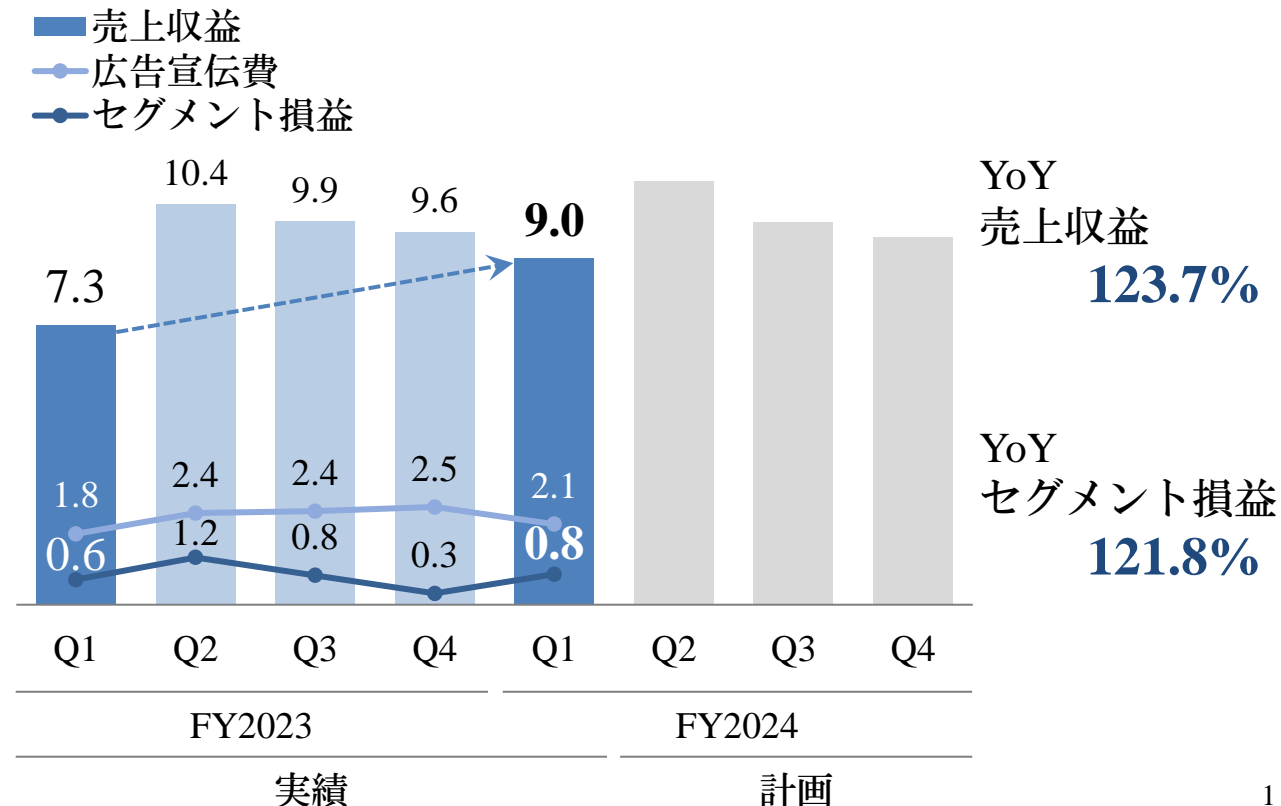
ALOBABYの海外展開の経緯



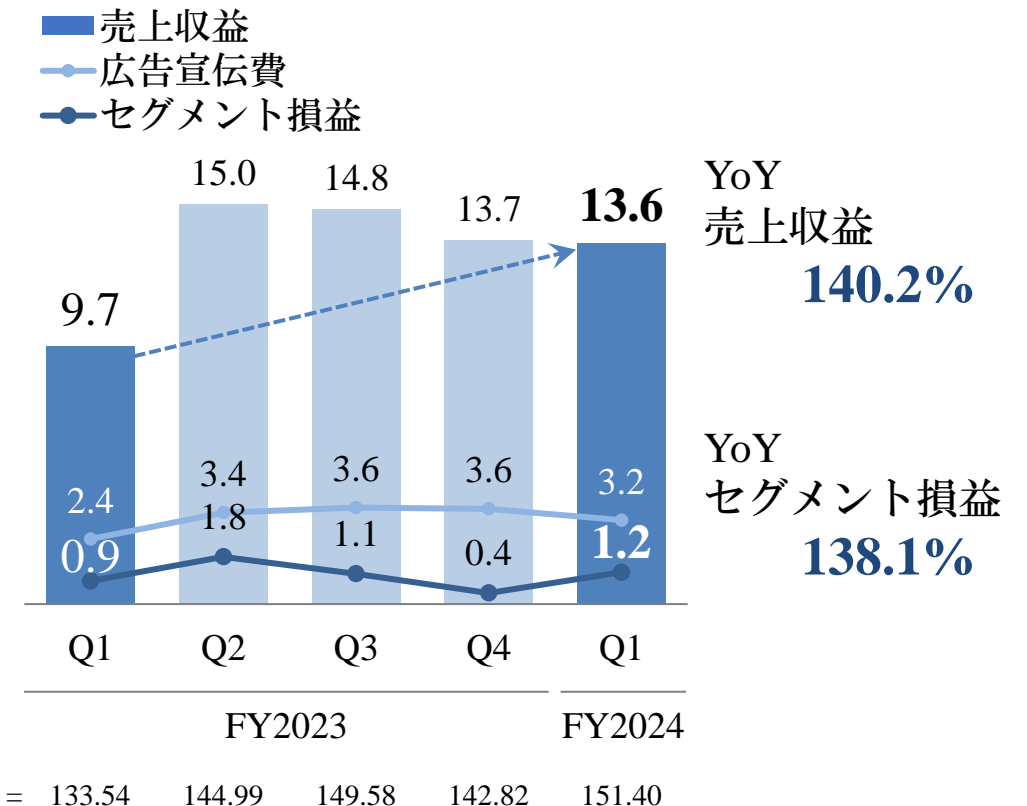
パーソナルケア領域の業績

- FY2024 Q1は売上収益9.0百万米ドル (13.6億円*)、セグメント損益0.8百万米ドル (1.2億円*) を達成
- 乳幼児向け「ALOBABY」 男性向け「AMBiQUE」の**2ブランドが順調に拡大**、売上収益、セグメント損益ともに**YoY120%超と大幅な増収増益**を実現

業績推移 (百万米ドル)



(参考) 現地通貨ベースでの業績推移* (億円)



* 日本円への換算は、各期末時点の米ドルと円の為替レートを適用

② ペットケア領域のご紹介

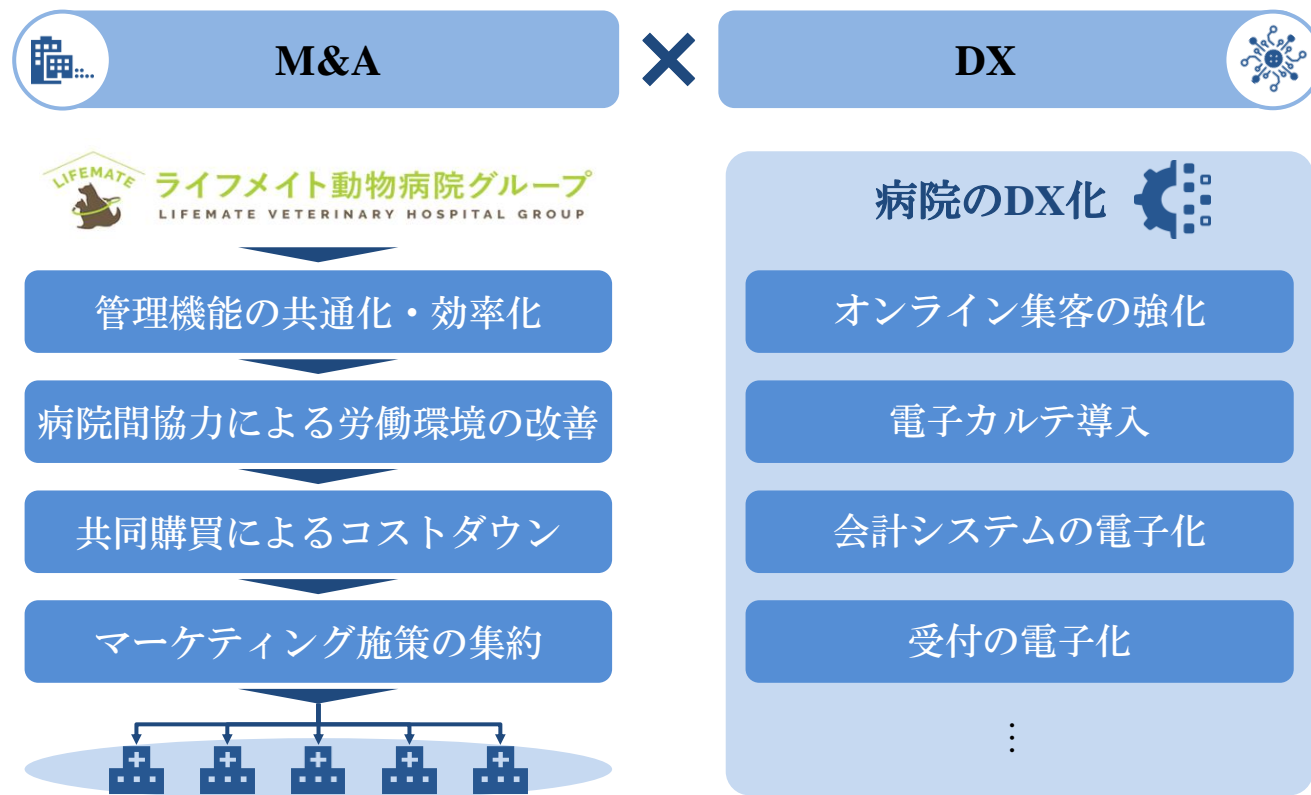
- ・ 事業承継を通じた動物病院の**グループ化**と**DX化**を推進し、事業のスケールアップを目指す
- ・ 現在、高度医療病院を4施設、一次診療を担う動物病院を7施設と、**計11病院**を所有・運営

動物病院の運営



事業承継による複数の動物病院をグループ化。現在は、関東及び北海道において11病院を運営しており、加えて常時複数のM&A案件を検討している

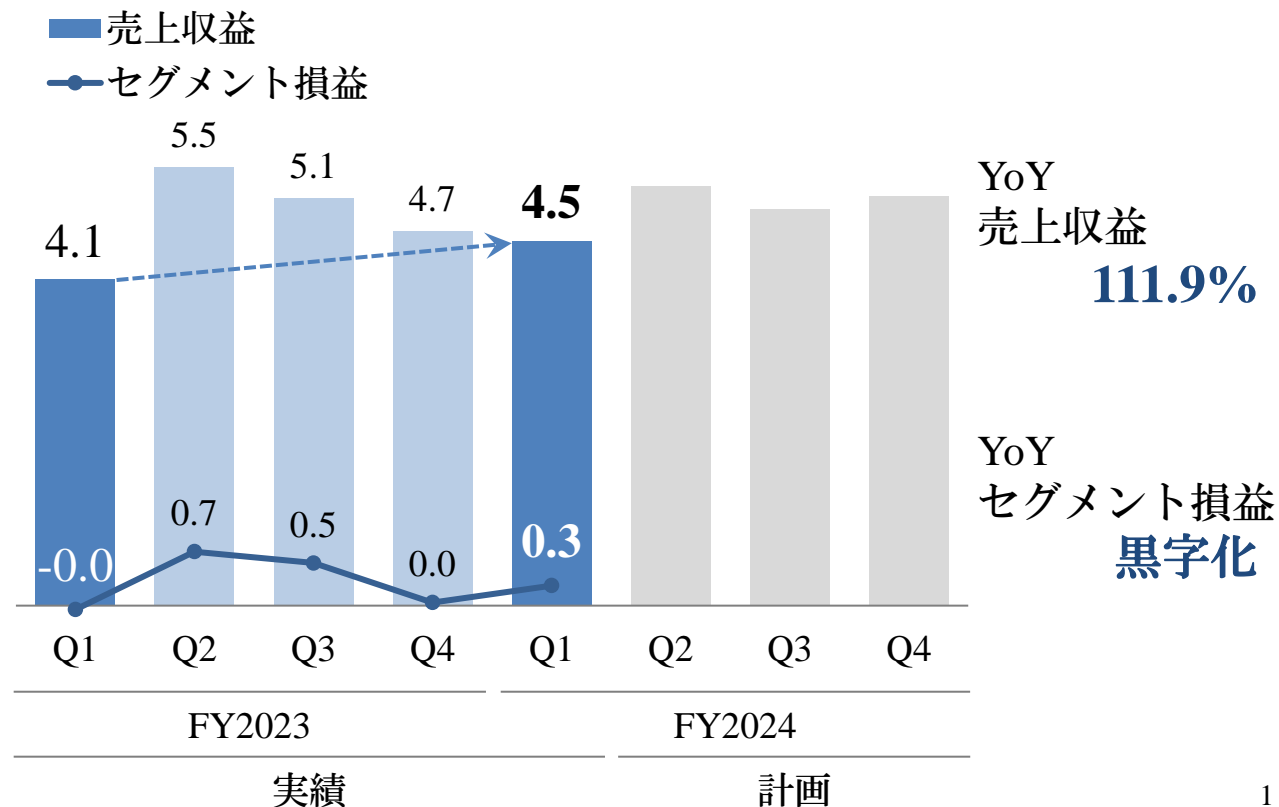
事業戦略



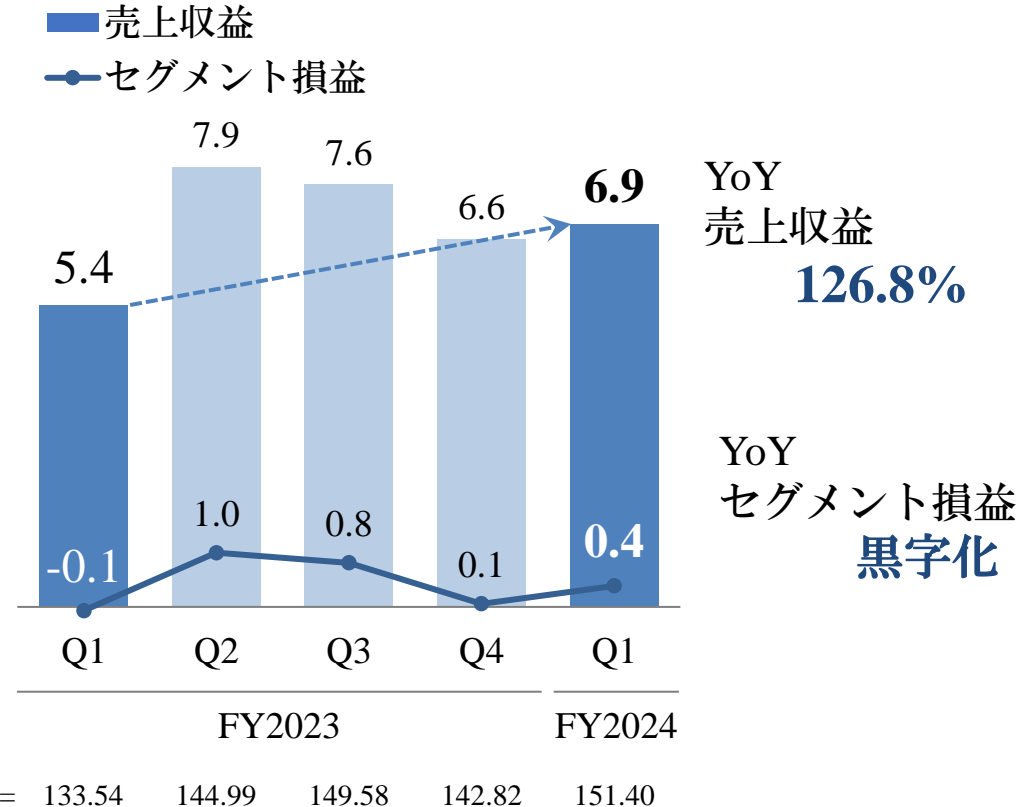
ペットケア領域の業績

- FY2024 Q1は売上収益4.5百万米ドル (6.9億円*)、セグメント損益0.3百万米ドル (0.4億円*) で着地
- **M&Aによる事業拡大** (2023年1月:北海道江別市で病院を承継、同4月:茨城県つくば市で病院を承継) が奏功し、**大幅な増収増益**を達成

業績推移 (百万米ドル)



(参考) 現地通貨ベースでの業績推移* (億円)



* 日本円への換算は、各期末時点の米ドルと円の為替レートを適用



③ 戦略投資領域のご紹介

- 将来の重点領域となる分野を「戦略投資領域」と位置づけ、積極的に投資を実行
- 北海道における海鮮居酒屋、香港・シンガポールにおける日本食レストラン、シニア向けサービス等を展開

飲食領域



GO Food



「食を通じて、世界中の人々により多くの笑顔届けたい」というミッションのもと、調理プロセスの最適化、徹底的なオペレーションの効率化を行い、国内外でハイクオリティな日本食ブランドを展開

シニア領域



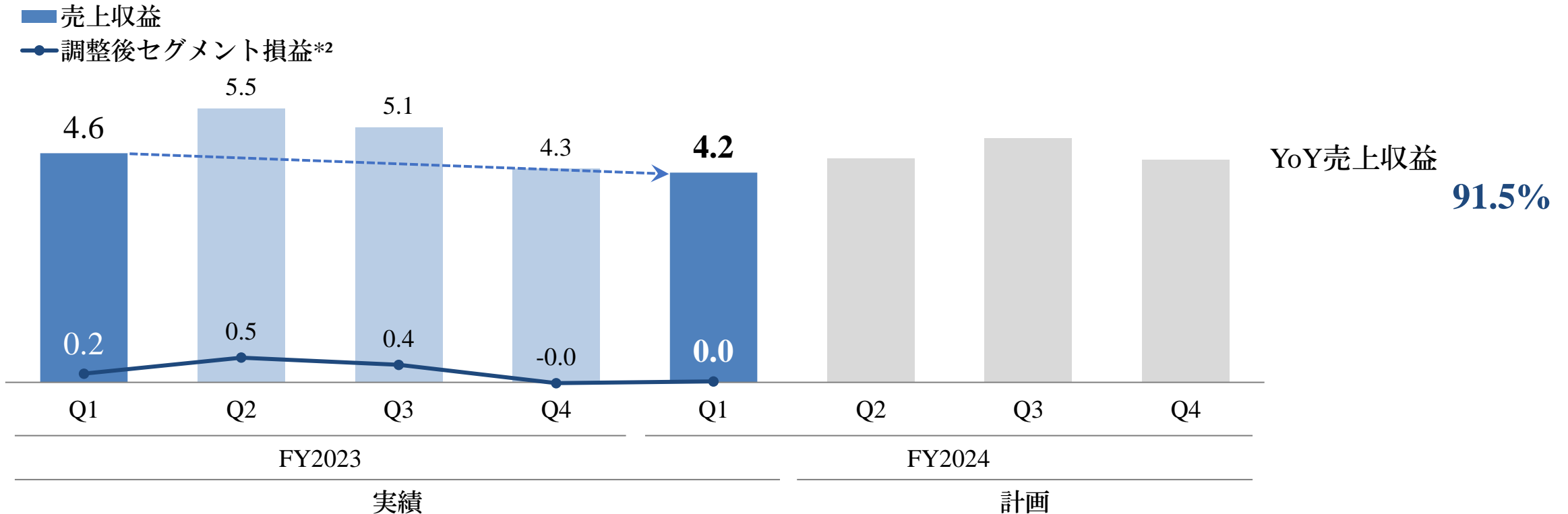
管理不要・後継者不要・宗派不問の自動搬送式納骨堂の販売事業を展開



戦略投資領域の業績

- FY2024 Q1は、中国の景気減速の影響により中国及びシンガポールでの飲食事業が軟調に推移したことから売上収益4.2百万米ドル (6.4億円*¹)、調整後*²セグメント損益0.0百万米ドル (0.0億円*¹) で着地

業績推移 (百万米ドル)



*1: 日本円への換算は、1ドル = 151.40円 (2024年3月29日の為替レート) により計算

*2: 調整後セグメント損益 = 子会社及び事業の売却損益や金融資産の評価損益、バーゲン・パーチェスによる利得など、本業以外の活動による一過性の非資金取引を除外したセグメント損益

2024年12月期 業績予想





グループ全体の成長戦略

グループの根幹をなすマネジメントサービス事業のオーガニックな成長と並行して、蓄積した知見をソリューション事業やプリンシパル投資事業に還元、3事業を一体として成長を実現する好循環を生み出す

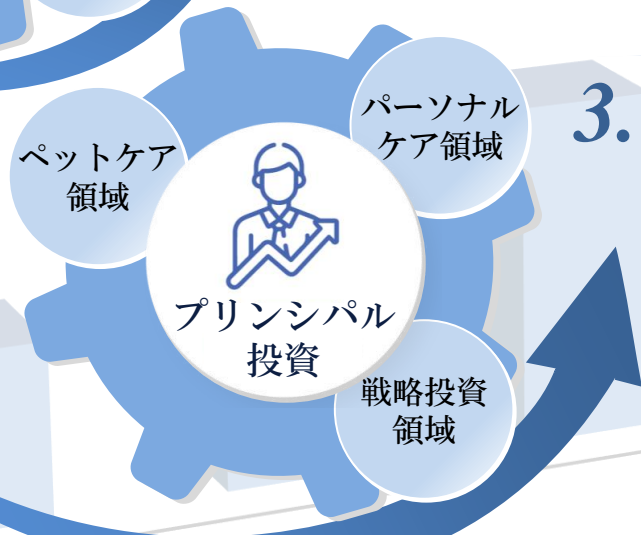
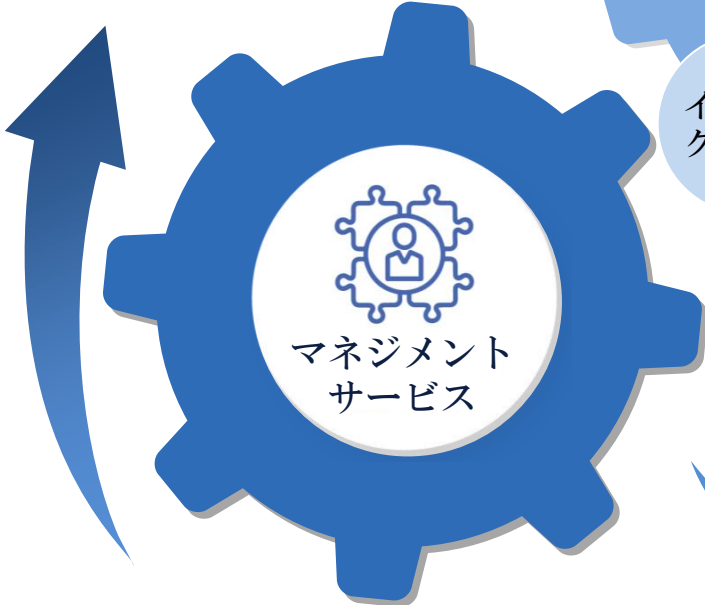
1. マネジメントサービス事業のオーガニック成長

人員体制の継続的な増強を図り、国内外で需要を捉えながら、**知見・ネットワークを蓄積**



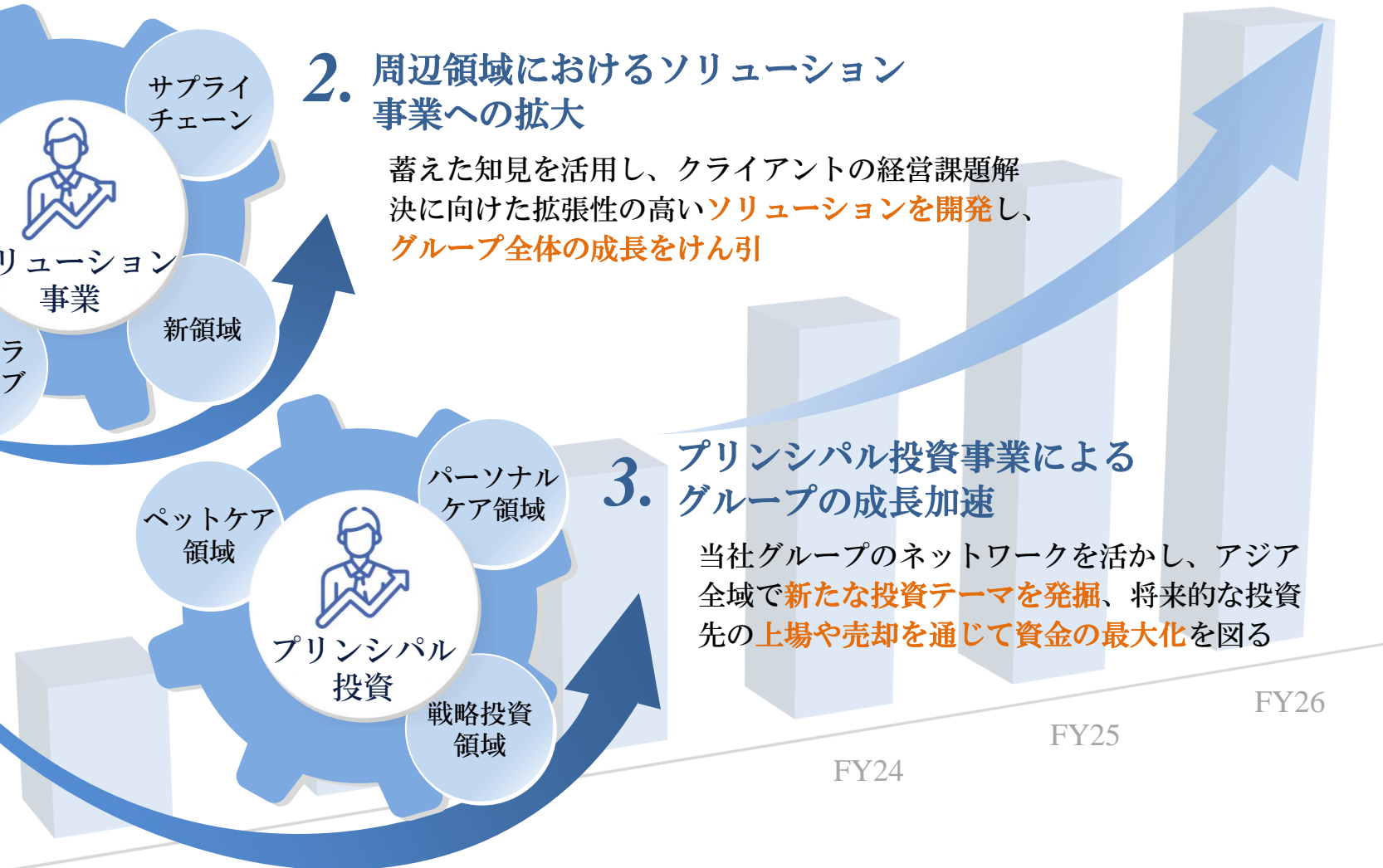
2. 周辺領域におけるソリューション事業への拡大

蓄えた知見を活用し、クライアントの経営課題解決に向けた拡張性の高い**ソリューションを開発し、グループ全体の成長をけん引**



3. プリンシパル投資事業によるグループの成長加速

当社グループのネットワークを活かし、アジア全域で**新たな投資テーマを発掘**、将来的な投資先の上場や売却を通じて**資金の最大化**を図る

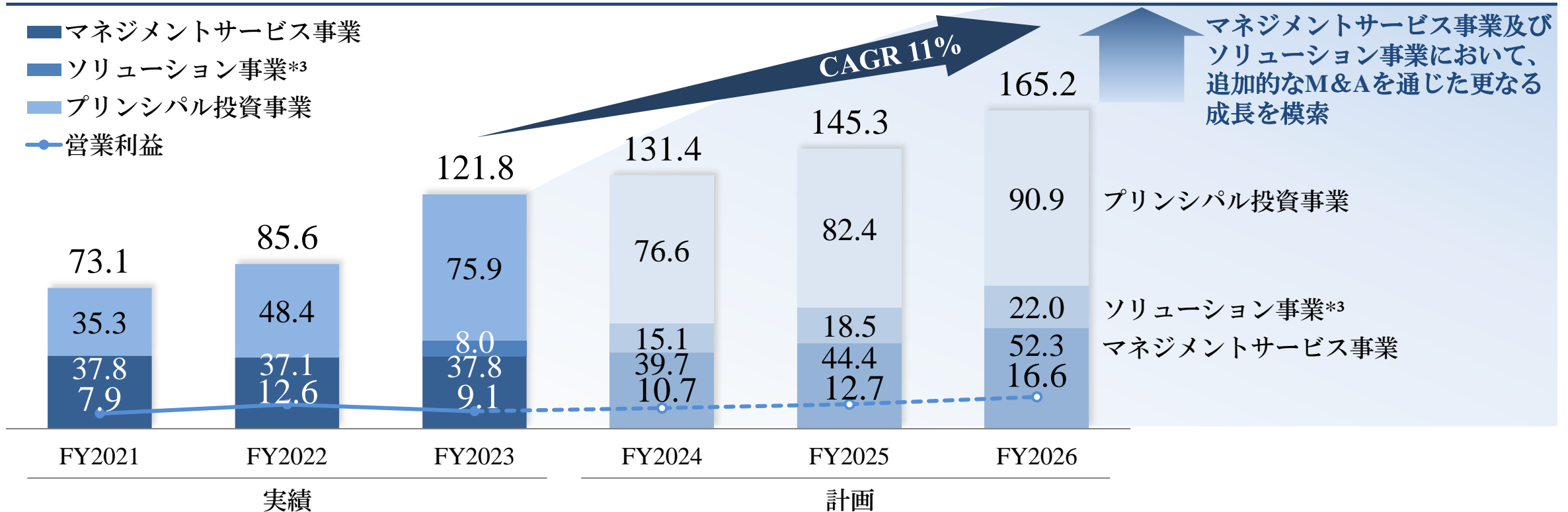




中期経営計画：グループ連結

- FY2026までに**売上収益165.2百万米ドル** (250.1億円*¹)、**営業利益16.6百万米ドル** (25.1億円*¹) を必達目標として掲げる
- **上記数値に織り込んでいないM&A**も積極的に検討し、より一層の業績拡大を目指す
- FY2023での減益は、FY2022に計上したアイペット株TOBに係る一過性の利益貢献*²が要因

売上収益・営業利益推移 (百万米ドル)



*1：日本円への換算は、1ドル=151.40円(2024年3月29日の為替レート)により計算

*2：保有するアイペット株の公開買い付け応募による「その他の収益及び利得」4.9百万米ドル、及び本公開買い付けに関連する費用として「一般管理費」-1.2百万米ドルをFY2022で計上

*3：事業規模の小さいソリューション事業部の一部領域は、マネジメントサービス事業に合算して開示予定

質疑応答





IRニュースレターのご案内

当社グループの最新IR情報をお届けいたします。

ぜひ、当社ホームページ (<https://ycp.com/ja>) の「IRトップ」ページから
ご登録ください。

IRトップページへのURLリンク：

<https://ycp.com/ja/investor-relations/ir-top>

IRニュースレターのご購読はこちらから

YCP Holdingsの投資家向けレポートや最新情報をお届けします。

氏名

メールアドレス

購読する →

当社グループは、個人情報の保護に配慮しています。詳細は[プライバシーポリシー](#)をご確認ください。

